

ちば電子調達システム
次期ブラウザ対応

受注者様向け設定手順書

第 1.6 版

2023 年 12 月 15 日

富士通 Japan 株式会社

改版履歴

版数	作成日／変更日	改版内容
第 1.0 版	2022 年 3 月 7 日	初版作成
第 1.1 版	2022 年 4 月 12 日	3.1. 事前検証ツールの実行 ファイルダウンロード～フォルダ展開までの手順追記
第 1.2 版	2022 年 4 月 18 日	3. 事前検証ツールの実行 補足説明を追記
第 1.3 版	2022 年 5 月 23 日	7.2 電子入札補助アプリのキャッシュクリア 電子入札補助アプリのキャッシュクリアの手順追記
第 1.4 版	2022 年 9 月 26 日	検証サイトの閉鎖に伴い、接続テストの記載を削除
第 1.5 版	2023 年 10 月 25 日	バージョンの表記を更新(OS、電子入札補助アプリ)
第 1.6 版	2023 年 12 月 15 日	バージョンの表記を更新(電子入札補助アプリ)

目次

1. はじめに.....	3
2. 設定の順序.....	4
3. 事前検証ツールの実行.....	5
3.1. 事前検証ツールの実行.....	5
3.2. 事前検証ツール実行結果の確認.....	8
3.3. 事前検証ツール実行の再実行.....	11
4. ブラウザのインストール.....	12
5. ブラウザの設定.....	13
5.1. キャッシュクリア.....	13
5.2. ポップアップ許可登録.....	16
6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ.....	20
7. 電子入札補助アプリの設定.....	21
7.1 電子入札補助アプリの許可 URL リストの設定.....	21
7.2 電子入札補助アプリのキャッシュクリア.....	26

1. はじめに

本書は、ちば電子調達システム 次期ブラウザ対応に向けた準備・設定を行うマニュアルです。
一般的な機能や操作手順については電子調達システム操作マニュアルを参照ください。

各画面イメージは、実際に表示される画面内容と異なる場合がございますので、ご了承ください。

略称について

- Edge : Microsoft Edge の略です。

登録商標について

- SuperCALS は、富士通 Japan 株式会社の登録商標です。
- Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

2. 設定の順序

ブラウザは Microsoft Edge をご利用ください。

以下の順序で各種設定を行います。

No.	設定内容	説明
1	事前検証ツールの実行	事前検証ツールを実行し、設定が必要な項目を確認します。
2	ブラウザのインストール	事前検証ツールにて、ブラウザのインストールが必要となった場合に実施します。
3	ブラウザの設定	事前検証ツールにて、ブラウザの設定が必要となった場合に実施します。 設定項目は以下になります。 ・キャッシュクリア ・ポップアップ許可
4	電子入札補助アプリのバージョンアップ	事前検証ツールにて、電子入札補助アプリのバージョンアップが必要となった場合に実施します。
5	電子入札補助アプリの設定	事前検証ツールにて、電子入札補助アプリの設定が必要となった場合に実施します。 設定項目は以下になります。 ・電子入札補助アプリの許可 URL ・電子入札補助アプリのキャッシュクリア

3. 事前検証ツールの実行

3.1. 事前検証ツールの実行

- ① 協議会ホームページで、「事前検証ツール」をクリックします。

「ちば電子調達システム」Edge対応設定手順のページ

千葉県電子自治体共同運営協議会

■ 「ちば電子調達システム」Edge対応設定手順

1. [ちば電子調達システムの対応ブラウザ変更について【事前設定作業が必要です】](#)

2. [Edge対応設定手順](#)

1. ちば電子調達システムの対応ブラウザ変更について【事前設定作業が必要です】

令和4年5月30日(月)に、ちば電子調達システムを利用できるブラウザを、「Internet Explorer」から「Microsoft Edge」に切り替えました。

引き続きシステムをご利用いただくためには、事前の設定作業が必要となります。

以下をご確認の上、設定作業を完了していただくようお願いいたします。

- ・令和4年5月30日(月)以降は、「Internet Explorer」はご利用いただけません。

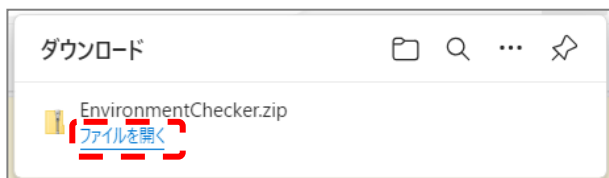
2. Edge対応設定手順

Edgeのインストール、電子入札補助アプリのアップデート、その他設定・接続テスト等を行います。

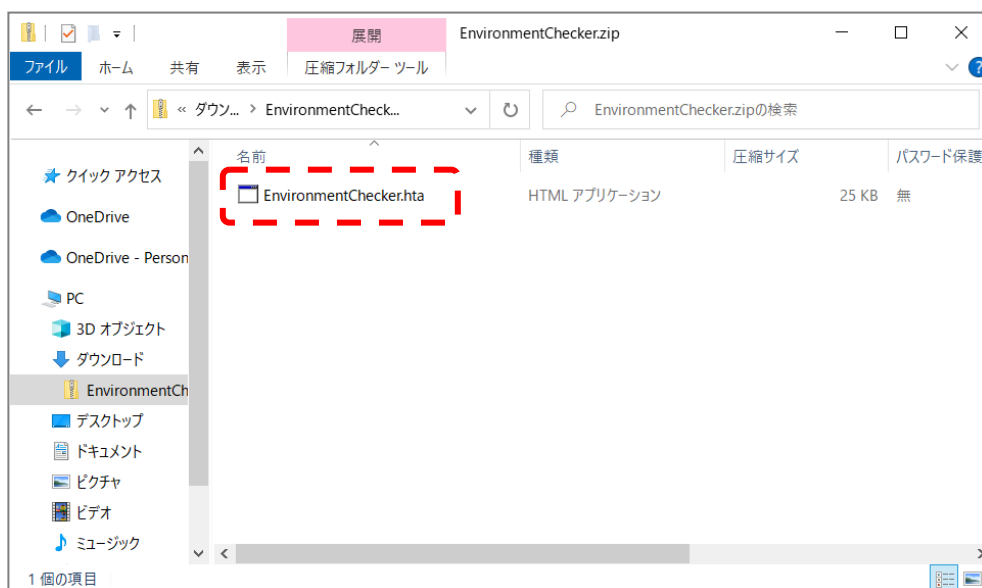
詳細な内容・手順は、以下をご覧ください。

ファイル名	備考
受注者様向け設定手順書(PDF)	令和4年10月1日更新
事前検証ツール(ZIPファイル)	令和4年4月11日更新

- ② 以下の画面が表示されたら、「ファイルを開く」をクリックします。



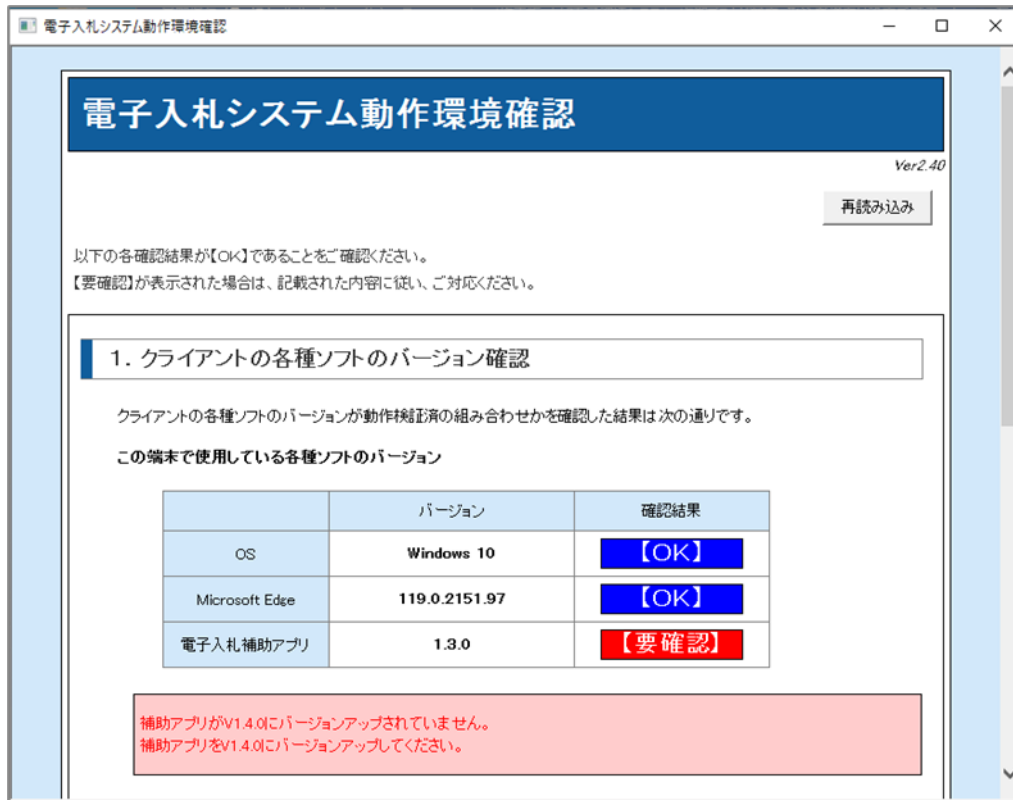
- ③ 以下の画面が表示されたら、表示されている事前検証ツール「EnvironmentChecker.hta」をダブルクリックし、実行します。



※以下の警告が表示された場合、「実行」をクリックします。



- ④ ツールが実行されると、以下のような画面が表示されます。
結果の見方は次項にて解説します。



3.2. 事前検証ツール実行結果の確認

① クライアントの各種ソフトのバージョン確認

お使いのパソコン環境の情報が表示されます。以下、表示例です。

1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認

クライアントの各種ソフトのバージョンが動作検証済の組み合わせかを確認した結果は次の通りです。

この端末で使用している各種ソフトのバージョン

	バージョン	確認結果
OS	Windows 10	【OK】
Microsoft Edge	119.0.2151.97	【OK】
電子入札補助アプリ	1.3.0	【要確認】

補助アプリがV1.4.0にバージョンアップされていません。
補助アプリをV1.4.0にバージョンアップしてください。

項目	内容
OS	パソコンの OS バージョンが表示されます。 Windows 10, Windows 11 のいずれかをご利用ください。
Microsoft Edge	Edge がインストールされている場合、バージョンが表示されます。 89 以降のバージョンにてご利用ください。
電子入札補助アプリ	電子入札補助アプリのバージョンが表示されます。 V1.3.0 以前の場合、V1.4.0 以降へのバージョンアップが必要です。 2023 年 12 月時点の最新版アプリは V1.4.0 です。 ※V1.4.1 をインストールした場合、アプリは V1.4.0 と表示されます。

※Microsoft Edge が『インストール未』の場合、『4. ブラウザのインストール』にて、インストールしてください。

※**電子入札システムおよび入札情報サービスを利用しない事業者様**については、「6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ」以降の設定は不要です（電子入札補助アプリが『インストール未』でも問題ありません。）。ただし、**Microsoft Edge の設定は資格申請システムのみ利用の場合も必要**になるため、引き続き以降の手順に進んでください。

② Microsoft Edge のポップアップ許可設定確認

Microsoft Edge をご利用する場合に設定が必要です。

2. Microsoft Edgeのポップアップ許可設定確認

Microsoft Edgeにてポップアップが許可されているかを確認した結果は次の通りです。

【要確認】

https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp (電子入札システムURL)がポップアップ許可されていない可能性があります。
https://www.chiba-ep-bis.supercals.jp (入札情報サービスURL)がポップアップ許可されていない可能性があります。

『要確認』の場合、『5.ブラウザの設定』に従って設定をしてください。

※以下は、**下記結果が表示された場合(設定情報が読み込めなかった場合)のみ実施**する手順となります。該当する場合のみ、『◆設定ファイルの場所指定◆』を実施ください。

【要確認】

設定情報が読み込めませんでした。

1) Microsoft Edge で「edge://version/」にアクセスします。

Microsoft Edge: 98.0.1108.43 (公式ビルド) (64 ビット)

リビジョン: 291a4aac9d385e528a1ded0dee8d29c81fdad737

オペレーティング システム: Windows 10 Version 21H1 (Build 19043.1486)

JavaScript: V8 9.8.118.4

ユーザー エージェント: Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; Win64; x64) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/98.0.4758.60 Safari/537.36 Edg/98.0.1108.43

コマンドライン: C:\Program Files (x86)\Microsoft\Edge\Application\msedge.exe --flag-switches-begin --flag-switches-end

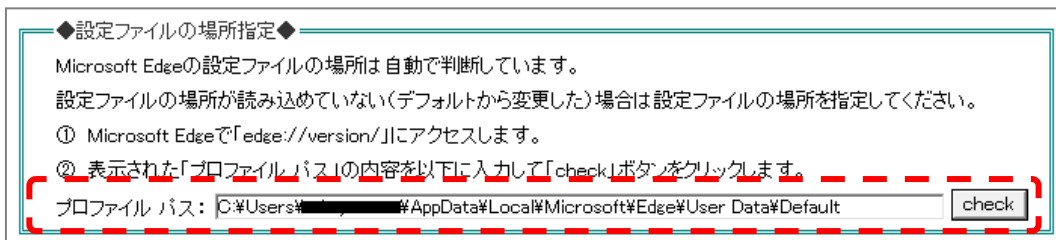
実行可能ファイルのパス: C:\Program Files (x86)\Microsoft\Edge\Application\msedge.exe

プロファイルパス: C:\Users\██████████\AppData\Local\Microsoft\Edge\User Data\default

バリエーション: 400460f2-d6026f3e 23f7e029-d0b07158 cd52e0f7-d0b07158 c3-4-30f5-d0b07158

『プロファイルパス』をコピー

2)表示された「プロファイル パス」の内容を以下に入力して「check」ボタンをクリックします。

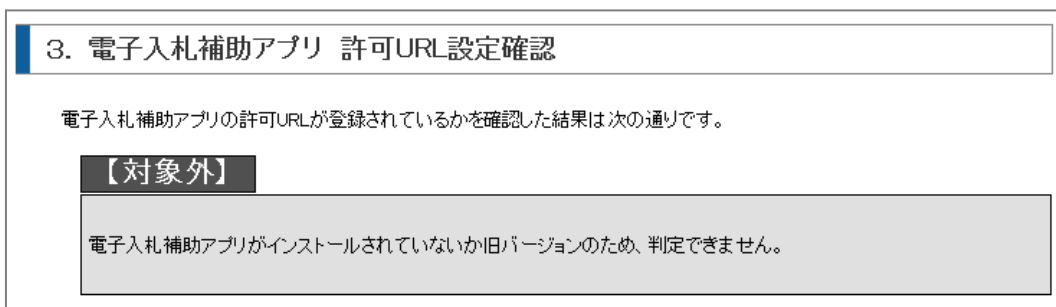


結果が『要確認』の場合、『5. ブラウザの設定』に従って設定をしてください。

③ 電子入札補助アプリ 許可 URL 設定確認

電子入札補助アプリのバージョンが V1.3.0 以前の場合、『対象外』となります。

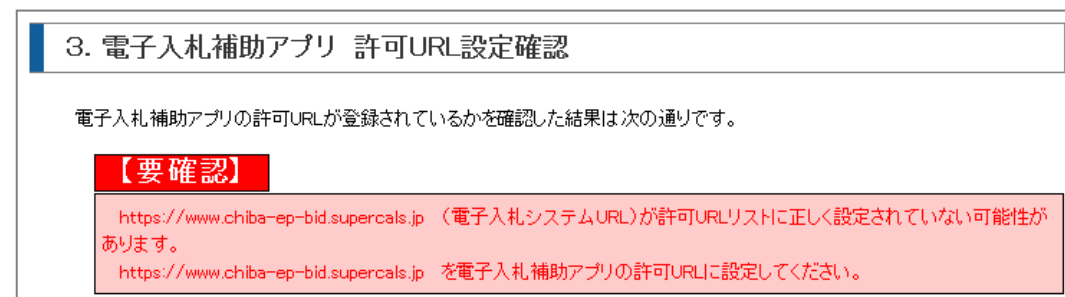
『6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ』に従ってバージョンアップをしてください。



※電子入札システムおよび入札情報サービスを利用されない(例:資格申請システムのみを利用している)事業者様については、『対象外』でも問題ございません。

電子入札補助アプリのバージョンが V1.4.0 以降で許可 URL 設定がされていない場合、『要確認』となります。

『7. 電子入札補助アプリの設定』に従って許可 URL の設定をしてください。



3.3. 事前検証ツール実行の再実行

ソフトウェアのインストールや設定を実施した後に、事前検証ツールを再実行し『OK』となる事を確認します。『要確認』となった場合、設定などに不備がありますので、再度手順書を確認いただき設定を実施ください。

事前検証ツールを再実行する場合、再度『3.1. 事前検証ツールの実行』を行うか、事前検証ツール右上の『再読み込み』ボタンをクリックします。

4. ブラウザのインストール

電子調達システムで利用するブラウザをインストールします。

既に Microsoft Edge がインストールされている(『OK』と表示された)場合、本章はスキップしてください。

以下のサイトより Microsoft Edge のインストーラーをダウンロードし、実行してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge>

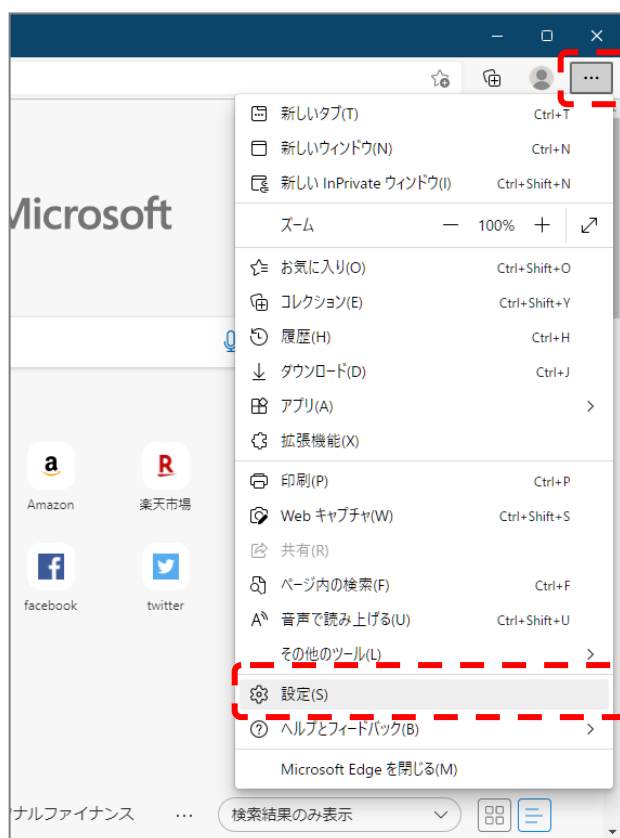
インストール完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『Microsoft Edge』の確認結果が『OK』となっていることを確認してください。

5. ブラウザの設定

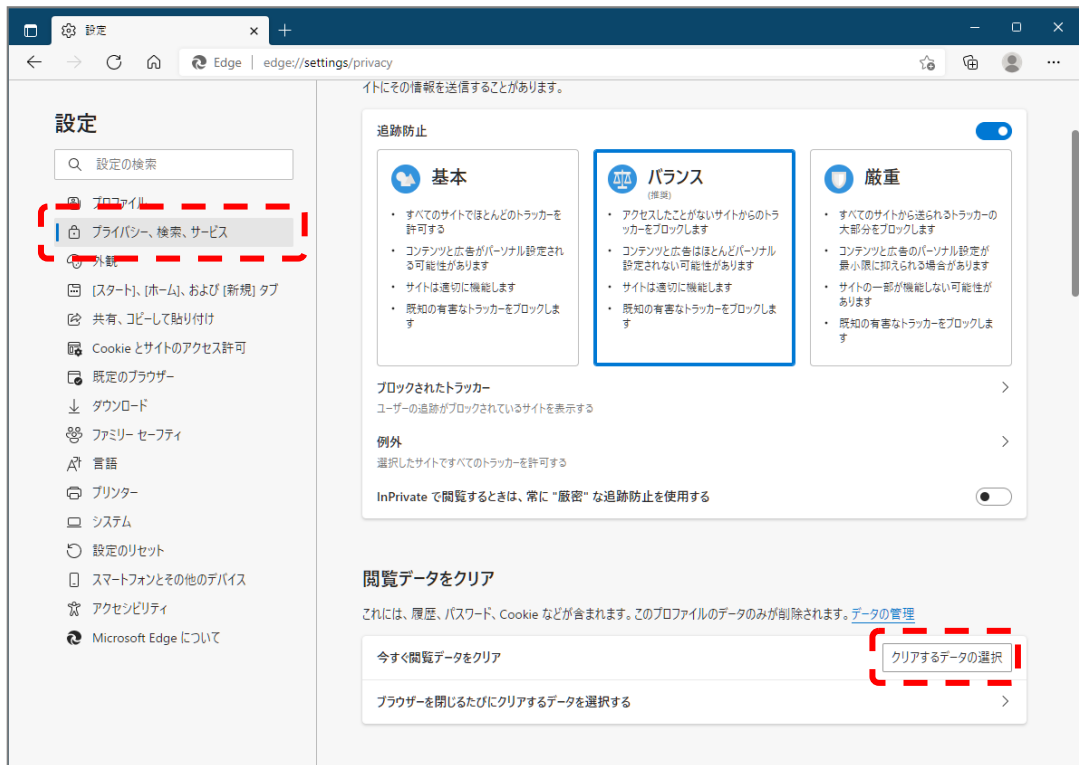
電子調達システムで利用するブラウザの設定を行います。

5.1. キャッシュクリア

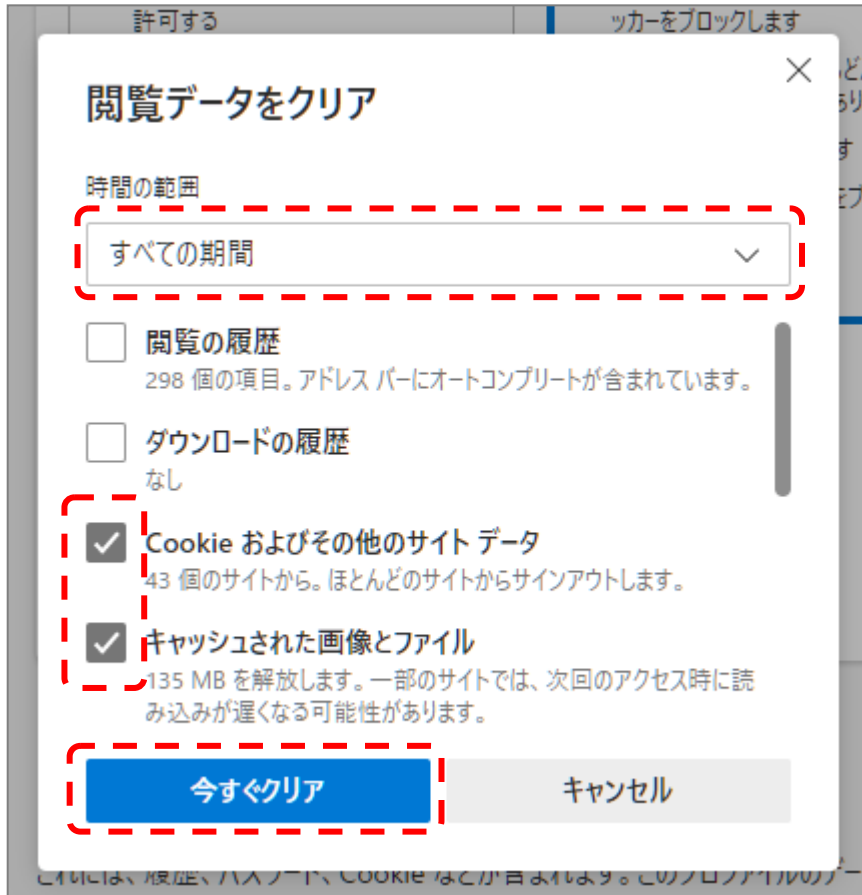
- ① Microsoft Edge のウィンドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。



- ② 画面左側のメニューにある『プライバシー、検索、サービス』をクリックし、表示された画面の『閲覧データをクリア』にある『クリアするデータの選択』ボタンをクリックします。



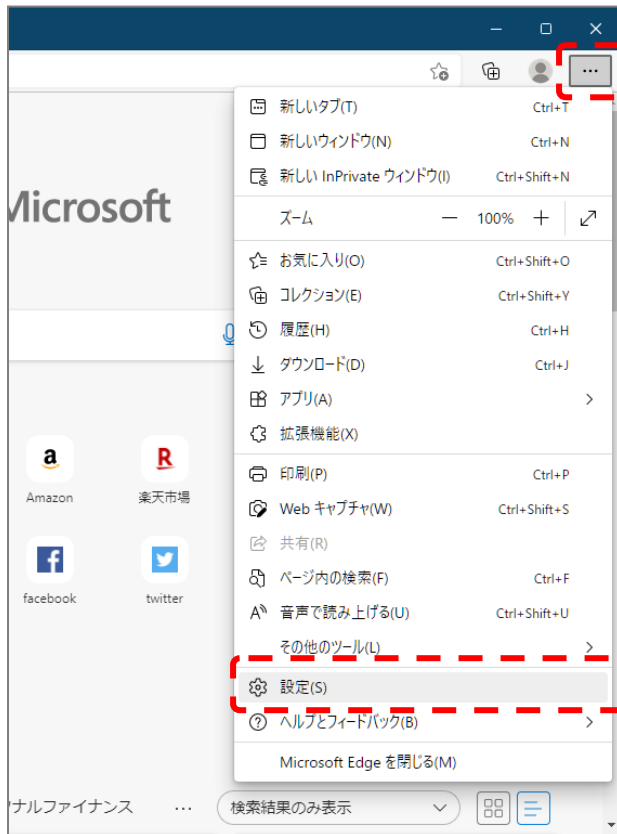
- ③ 時間の範囲は『すべての期間』を選択し、『Cookie およびその他のサイトデータ』と『キャッシュされた画像とファイル』のチェックボックスにチェック☑をし、『今すぐクリア』ボタンをクリックします。



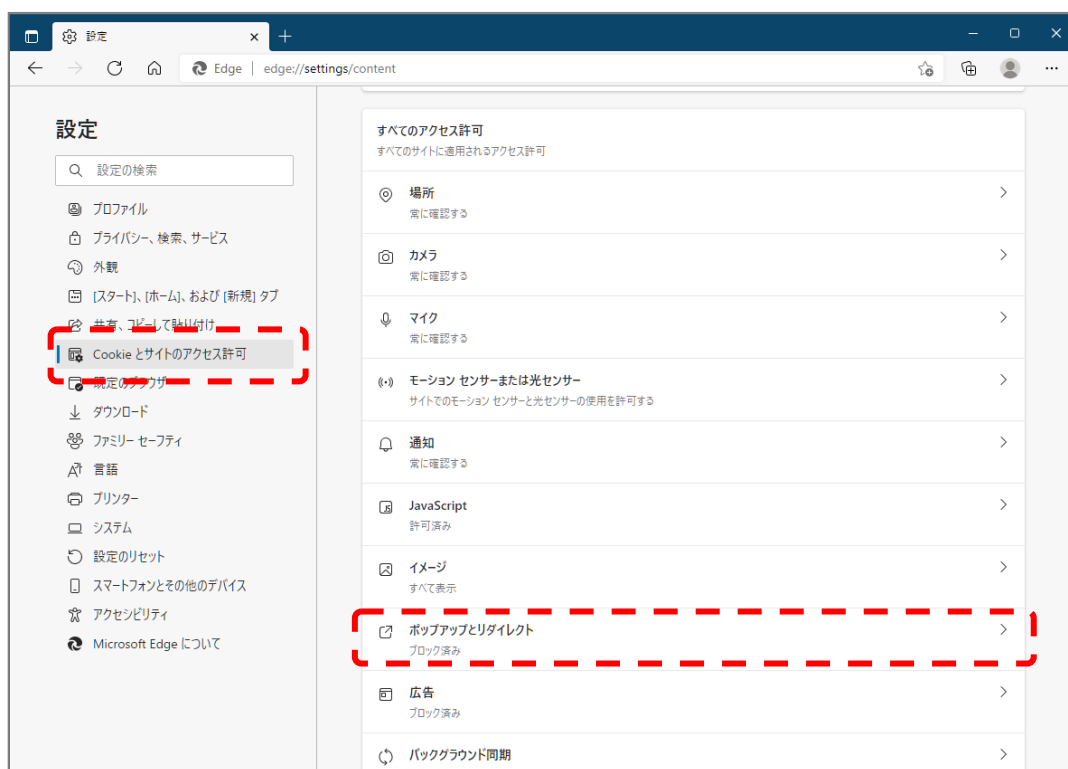
以上でキャッシュクリアは完了です。続けて、ポップアップ許可登録を実施ください。

5.2. ポップアップ許可登録

- ① Microsoft Edge のウィンドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。



- ② 画面左側のメニューにある『Cookie とサイトのアクセス許可』をクリックし、表示された画面の『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。



- ③ 『許可』の右にある『追加』をクリックします。

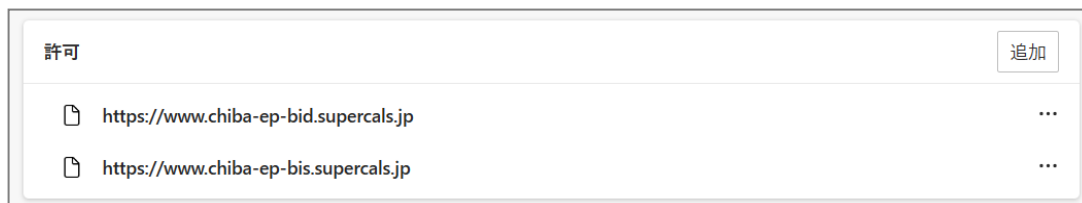


- ④ 画面の『サイト』に以下の表の URL を入力します。入力は 1URL ずつ行い、入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。2URL の登録が必要なため、計 2 回実施してください。



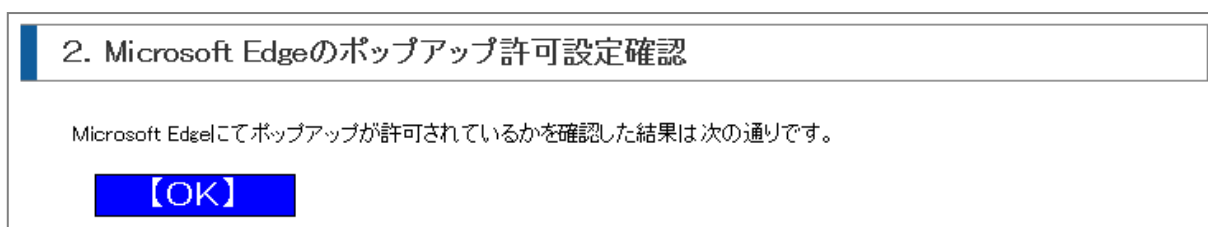
No	URL	説明
1	https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp	電子入札システム 資格申請システム
2	https://www.chiba-ep-bis.supercals.jp	入札情報サービス ポータルサイト

⑤ 入力した2つのURLが許可一覧に追加されていることを確認します。



以上でポップアップ許可登録は完了です。

最後に、事前検証ツールを再実行し、『2. Microsoft Edge のポップアップ許可設定確認』が『OK』となったことを確認してください。



以上で設定は完了です。

電子入札システムおよび入札情報サービスを利用している事業者様は、引き続き6章以降の手順へ進んでください。

※電子入札システムおよび入札情報サービスを利用されない(例:資格申請システムのみを利用している)事業者様については、本章までで設定完了となります。以降の手順は実施不要です。

6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ

電子入札補助アプリのバージョンアップを行います。

既に V1.4.0 以降のバージョンがインストールされている場合、本章はスキップしてください。

電子入札補助アプリは、ご利用されている民間認証局より入手してください。

連絡先等は以下の「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」をご確認ください。

- ・一般財団法人日本建設情報総合センター「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」
- ・<https://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>

入手後は、アプリ付属の手順書に沿ってバージョンアップ作業を実施ください。

バージョンアップ完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『電子入札補助アプリ』のバージョンが V1.4.0 以降となっていることを確認してください。

7. 電子入札補助アプリの設定

7.1 電子入札補助アプリの許可 URL リストの設定

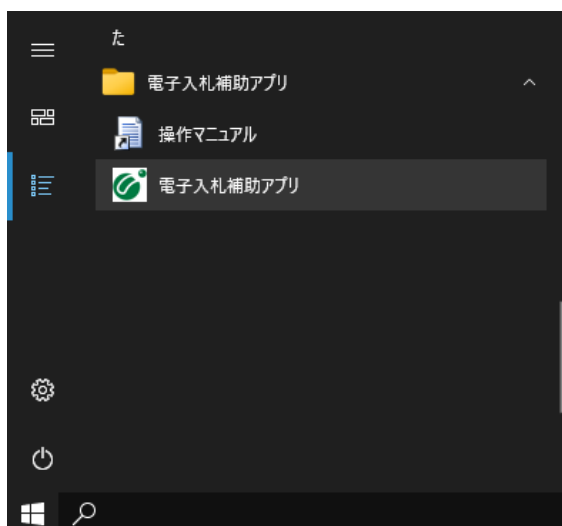
電子入札補助アプリの許可 URL リストの設定を行います。

許可 URL は事前チェックツールで『要確認』となった URL を追加登録します。

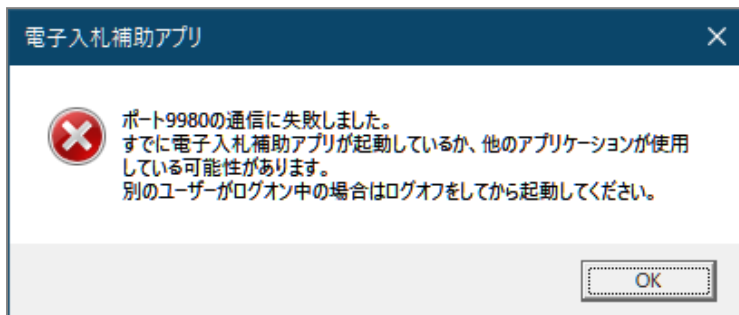
① 電子入札補助アプリを起動します。以下操作は起動方法の一例です。

例) Windows マークをクリックし、『すべてのアプリ』をクリックします。

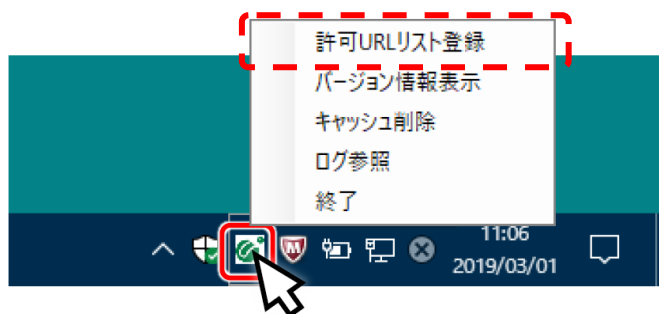
表示されたアプリケーション一覧から『電子入札補助アプリ』をクリックします。



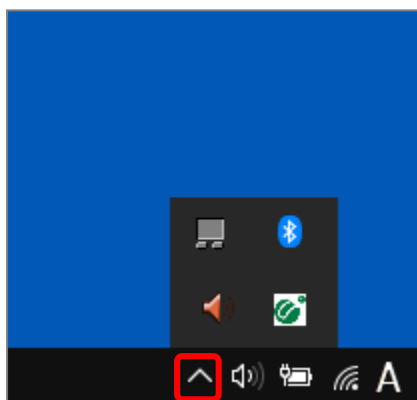
※既に起動している場合、以下のエラーメッセージが表示されます。



- ② 右下のタスクトレイの電子入札補助アプリアイコンを右クリックし、電子入札補助アプリのメニューを表示させ、『許可 URL リスト登録』をクリックします。



※右下にアイコンが無い場合、『』をクリックしタスクトレイを表示します。



- ③ 『許可 URL リスト登録』画面の中央にあるテキスト入力エリアに URL を入力します。
URL の入力完了したら『追加』ボタンをクリックします。入力対象は 1URL です。

以下の URL 追加が必要です。

No	URL	説明
1	https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp	電子入札システム

【要確認】

https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp (電子入札システムURL)が許可URLリストに正しく設定されていない可能性があります。

https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp を電子入札補助アプリの許可URLに設定してください。

例) 許可 URL に登録されていない場合の事前検証ツールの表示

- ④ 追加した URL が一覧に表示されていることを確認します。
問題なければ設定の保存のために、右上の『×』ボタンをクリックします。

許可されたサイトのURL
https://www.chiba-ep-bid.supercals.jp

追加

削除

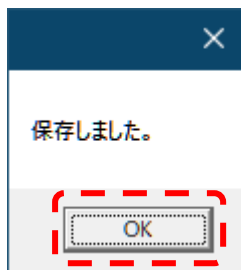
- ⑤ 『はい(Y)』をクリックし、設定を保存します。

許可URLリスト登録

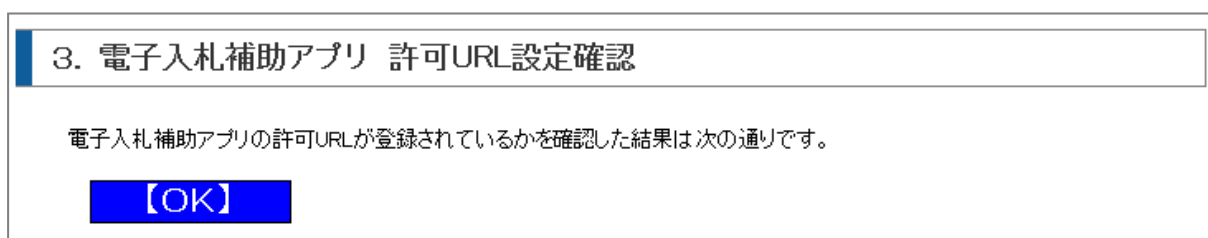
変更した情報の保存を行いますか？

はい(Y) いいえ(N)

⑥ 『OK』をクリックし、設定を完了します。



最後に、事前検証ツールを再実行し、『3. 電子入札補助アプリ 許可URL設定確認』が『OK』となったことを確認してください。



以上で電子入札補助アプリの設定は完了です。

7.2 電子入札補助アプリのキャッシュクリア

① 電子入札補助アプリが起動していることを確認します。

右下のタスクトレイ内に電子入札補助アプリのアイコンがあることを確認してください。

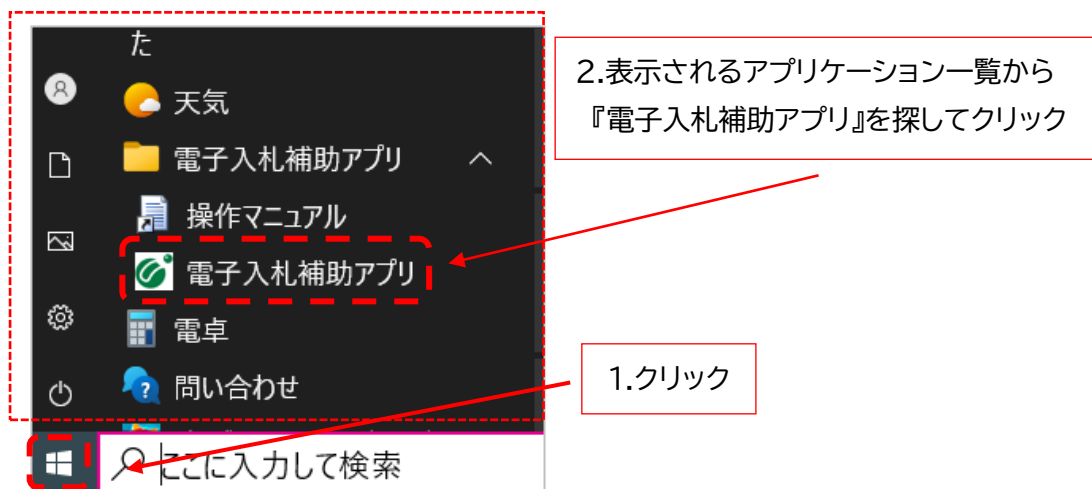


確認できれば②に進みます。

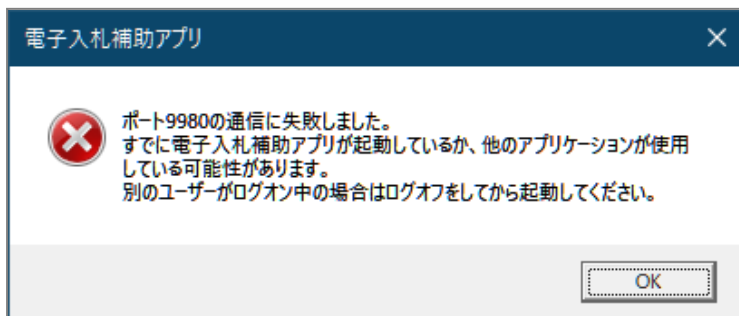
上記のように表示されていない場合は、電子入札補助アプリを起動します。

起動方法の例) Windows マークをクリックします。

表示されたアプリケーション一覧から『電子入札補助アプリ』をクリックします。



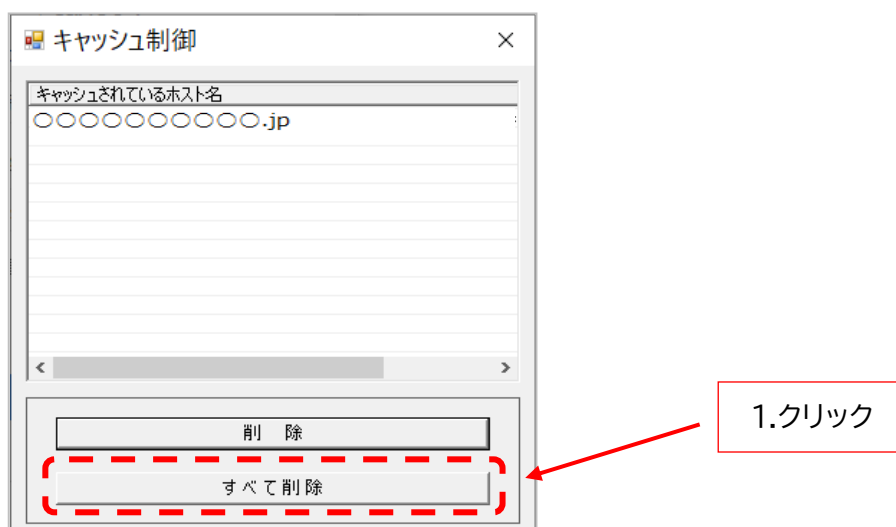
※既に起動している場合、以下のエラーメッセージが表示されます。



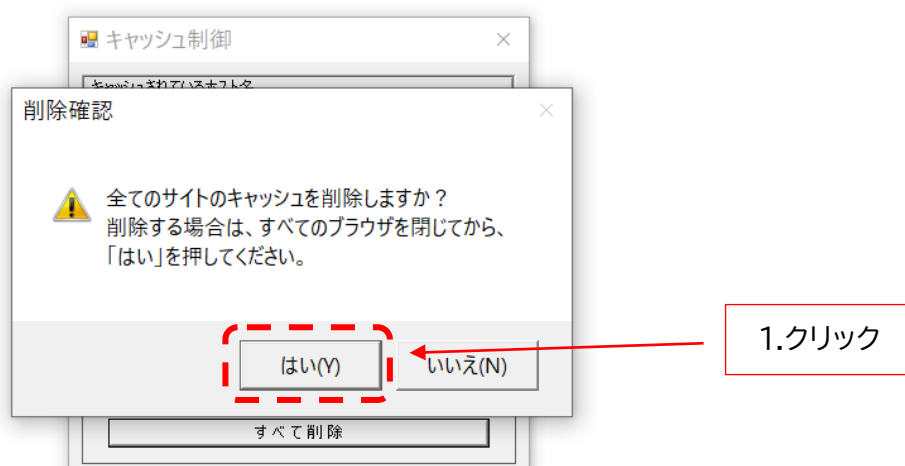
- ② 右下のタスクトレイの電子入札補助アプリアイコンを右クリックし、電子入札補助アプリのメニューを表示させ、『キャッシュ削除』をクリックします。



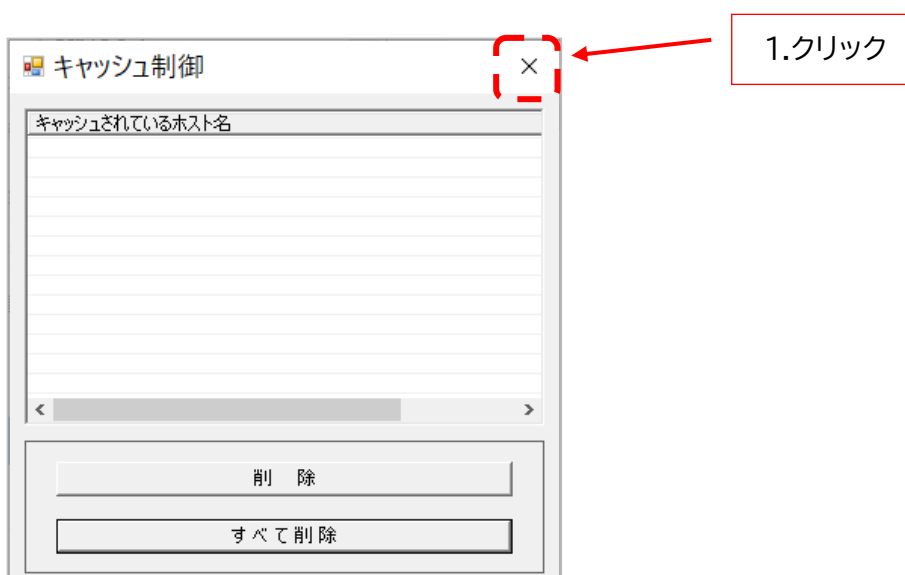
- ③ 『キャッシュ制御』画面の **すべて削除** ボタンをクリックします。



- ④ はい(Y) ボタンをクリックします。



- ⑤ 右上の×をクリックし、『キャッシュ制御』画面を閉じます。



以上で電子入札補助アプリのキャッシュクリアは完了です。